

## 資料 2 - 2

### 第 7 次府中市総合計画後期基本計画策定に係る基本的な考え方（案）

#### 1 基本計画（後期）について

- ① 基本構想実現に向けた課題や政策等を明確に示します。
- ② 市民に分かりやすく伝えることを重視します。
- ③ 国の取組（計画）との整合を図ります。

#### 2 構成について

- ① 連続性の確保のため、前期基本計画の構成を土台とします。
- ② 前期基本計画の達成状況や、社会情勢等の変化や新たなニーズ・課題などを序論として整理し、策定の背景を示します。

#### 3 重点プロジェクトについて

（参考）第 7 次府中市総合計画 P. 50～60

分野横断的な政策課題に対応するため、前期基本計画から引き続き、基本目標の分野の枠にとらわれない取組である重点プロジェクトを位置付けます。

##### 【前期基本計画における重点プロジェクト】

プロジェクト 1 ⇒ 地域でつながり安心して暮らせるまちづくり

プロジェクト 2 ⇒ 未来を担うひとを育むまちづくり

プロジェクト 3 ⇒ 活気に満ちた交流が盛んなまちづくり

#### 4 総合戦略について

（参考）第 7 次府中市総合計画 P. 50

人口の将来展望を踏まえた地方創生に関する今後の目標や施策の方向を示すため、国は「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。これに沿って、市は令和 3 年度に「第 2 期府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、前期基本計画の重点プロジェクトと一体化することで、効果的な推進と進捗管理を図ってきました。

そのような中、令和 4 年度に国は「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の抜本的な見直しを行い、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」として改定し

## 資料 2 - 2

ました。当該総合戦略では、従来の地域課題の解決のため、デジタル技術を活用することが方針に追加されました。

この改定に対応するため、後期基本計画策定に当たっては、「第2期府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の位置付けを見直し、国の総合戦略を勘案した新たな計画体系を検討することとします。

### 【前期基本計画における総合戦略】

前期基本計画は、重点プロジェクトを「第2期府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と位置付けました。

### 【後期基本計画における総合戦略（案）】

後期基本計画は、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえた新たな「地方版総合戦略」を包含したものとして位置付けた上で、計画の各施策を、デジタル技術の活用に関する視点も入れて取りまとめます。

その中で重点プロジェクトは、重点的かつ優先的に実施すべき分野横断的な取組として位置付けます。